伐採及び伐採後の造林の届出書

（記載例１） 伐採後に森林以外になる場合（１haを超えない場合）

伐採期間の30～90日前になっていますか？

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 平成24年10月１日

　　　○○市長　殿

住　所　　　　○○市△△町字□□１２３

届出人　氏　名　○○林業

伐採する者と伐採後の造林をする者が連名で記載されていますか？

代表取締役　林野次郎　印

伐採する者（立木を買い受けて伐採する者等）

住　所　　　　○○市○○町１－２－３

伐採後の造林をする者（森林所有者）

届出人　氏　名　森林　太郎　　　　　　印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ます。

伐採箇所の地番が全て記載されていますか？

複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| ○○市 △△町 大字○○ 字△△　地番1234-1番地、1234-2番地 |

伐採面積の合計を記載してください。

伐採面積が１ha以下になっていますか？

２　伐採の計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 0.50ha | | |
| 伐採方法 | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | スギ | | |
| 伐採齢 | 60 | | |
| 伐採の期間 | 平成24年11月15日～平成25年3月31日 | | |

伐採後において森林以外の用途に供されることとなるため、伐採後の造林の計画は記載不要です。

３　伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | | | | －　ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | | | － ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | | － ha |
| 人工播種による面積（Ｂ） | | － ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | | | － ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　）・なし |

(2) 造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 伐採後において森林以外の用途になるため、「５年後において適確な更新がなされない場合」欄のみ記載します。 | | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  植栽本数 |
| 人工造林  （植栽・人工播種） | | － | － | －　ha | －　本 |
| 天然更新  （ぼう芽更新・天然下種更新） | | － | － | － |  |
|  | ５年後において適確な更新がなされない場合 | 平成30年4月1日～  平成31年3月31日 | スギ | 0.50ha | 1,000本 |

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して５年を経過した日において(3)の用途になっていない場合には、その時点から２年以内に森林に復旧するため、必ず造林の計画を記載してください。

（ただし、５年以内に転用した場合は、造林する必要はありません。）

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
| --- |
| 宅地造成 |

確認通知書が必要かどうかを記載してください。

４　備考

|  |
| --- |
| 確認通知書等の希望の有無（ 有・無 ） |

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採をする者と伐採後の造林をする者とが異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採をする者と当該伐採後の造林をする者が連名で提出すること。

３　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

４　森林の所在場所ごとに記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

７　伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

８　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

９　伐採の期間が１年を超える場合においては、２の伐採の計画を年次別に記載すること。

10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

11　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

12　天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。

13　造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

14　樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

15　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。

16　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

（記載例２）　　　　　　 森林経営計画に係る伐採等の届出書（間伐）の場合

伐採終了の30日以内になっていますか？

森林経営計画に係る伐採等の届出書

平成29年６月１日

　　〇〇市長　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　届出人　　住　所　　〇〇市△△町字□□１-２-３

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　氏　名　　森林　太郎　　 　　　　　　　　　　　　　　印

森林経営計画申請者が記載されていいますか？

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人にあっては、名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 称及び代表者の氏名

認定番号第〇〇-△　号をもって認定された森林経営計画の対象となる森林につき下記のとおり伐採（造林、譲渡、作業路網の設置）をしたので、森林法第15条の規定により届け出ます。

材積率で35％以内の材積となっていますか？

森林経営計画に間伐が予定されている箇所・次期ですか？

記

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所　在　場　所 | | | | 伐　　　　　採 | | | | | 造　　　林 | | | | 譲　　　　　　　渡 | | | | | | 作業路網の設置 | | | 備考 |
| 都道府県 | 市町村都 | 字（大字） | 地番 | 時期 | 主間伐別 | 伐採面積（㏊） | 樹種 | 伐採立木材積（㎥） | 時期 | 造林方法 | 植栽本数（本） | 造林面積（㏊） | 時期 | 伐採の時期 | 伐採面積（㏊） | 樹種 | 林齢 | 伐採立木材積（㎥） | 時期 | 路線名 | 設置延長（ｍ） |
| 岩手県 | 〇〇市 | △△ | 123 | H29.5.1  　　～  H29.5.15 | 間伐 | 0.50 | スギ | 40 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）１　市町村ごとに別葉とすること。

　　　２　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

　　　３　面積は、ﾍｸﾀｰﾙ単位とし、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

　　　４　材積は、立法ﾒｰﾄﾙを単位とし、小数第１位を四捨五入すること。

　　　５　立木を譲渡した場合は、当該譲渡を証明する書類の写しを添付すること。

（記載例３）　　　　　　 森林経営計画に係る伐採等の届出書（主伐）の場合

伐採終了の30日以内になっていますか？

森林経営計画に係る伐採等の届出書

平成29年６月１日

　〇〇市長　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　届出人　　住　所　　〇〇市△△町字□□１-２-３

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　氏　名　　森林　太郎　　 　　　　　　　　　　　　　　印

森林経営計画申請者が記載されていいますか？

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人にあっては、名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 称及び代表者の氏名

認定番号第〇〇-△　号をもって認定された森林経営計画の対象となる森林につき下記のとおり伐採（造林、譲渡、作業路網の設置）をしたので、森林法第15条の規定により届け出ます。

森林経営計画に主伐が予定されている箇所・次期ですか？

記

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所　在　場　所 | | | | 伐　　　　　採 | | | | | 造　　　林 | | | | 譲　　　　　　　渡 | | | | | | 作業路網の  設　　置 | | | 備考 |
| 都道府県 | 市町村都 | 字（大字） | 地番 | 時期 | 主間伐別 | 伐採面積（㏊） | 樹種 | 伐採立木材積（㎥） | 時期 | 造林方法 | 植栽本数（本） | 造林面積（㏊） | 時期 | 伐採の時期 | 伐採面積（㏊） | 樹種 | 林齢 | 伐採立木材積（㎥） | 時期 | 路線名 | 設置延長（ｍ） |
| 岩手県 | 〇〇市 | △△ | 123 | H29.5.1～  H29.5.20 | 主伐 | 0.20 | スギ | 84 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）１　市町村ごとに別葉とすること。

　　　２　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

　　　３　面積は、ﾍｸﾀｰﾙ単位とし、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

　　　４　材積は、立法ﾒｰﾄﾙを単位とし、小数第１位を四捨五入すること。

　　　５　立木を譲渡した場合は、当該譲渡を証明する書類の写しを添付すること。

（記載例４）　　　　　 伐採方法が間伐の場合

伐採及び伐採後の造林の届出書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 平成24年10月１日

伐採期間の30～90日前になっていますか？

　　　○○市長　殿

住　所　　　　○○市△△町字□□１２３

届出人　氏　名　○○林業

伐採する者（立木を買い受けて伐採する者等）

伐採する者と伐採後の造林をする者が連名で記載されていますか？

代表取締役　林野次郎　印

住　所　　　　○○市○○町１－２－３

伐採後の造林をする者（森林所有者）

届出人　氏　名　森林　太郎　　　　　　印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ます。

伐採箇所の地番が全て記載されていますか？

複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| ○○市 △△町 大字○○ 字△△　地番1234-1番地，1234-2番地 |

伐採面積の合計を記載してください。

２　伐採の計画

材積の割合を記載します。伐採する木の林齢及び市町村森林整備計画に定める間伐の標準的な方法に照らして適正な伐採率となっていますか？

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 2.00ha | | |
| 伐採方法 | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 | 伐採率 | 30％ |
| 伐採樹種 | スギ | | |
| 伐採齢 | 35 | | |
| 伐採の期間 | 平成24年11月15日～平成25年3月15日 | | |

間伐の場合は、記載不要です。

３　伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | | | | －　ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | | | － ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | | － ha |
| 人工播種による面積（Ｂ） | | － ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | | | － ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　）・なし |

(2) 造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 間伐の場合は、記載不要です。 | | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  植栽本数 |
| 人工造林  （植栽・人工播種） | | － | － | －　ha | －　本 |
| 天然更新  （ぼう芽更新・天然下種更新） | | － | － | － |  |
|  | ５年後において適確な更新がなされない場合 | － | － | － | － |

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
| --- |
| － |

適合通知書が必要な場合は記載してください。

４　備考

|  |
| --- |
| 適合通知書等の希望の有無（ 有・無 ） |

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採をする者と伐採後の造林をする者とが異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採をする者と当該伐採後の造林をする者が連名で提出すること。

３　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

４　森林の所在場所ごとに記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

７　伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

８　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

９　伐採の期間が１年を超える場合においては、２の伐採の計画を年次別に記載すること。

10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

11　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

12　天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。

13　造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

14　樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

15　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。

16　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

（記載例５）　伐採方法が皆伐であって、伐採後の造林の計画が人工造林の場合

伐採及び伐採後の造林の届出書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 平成24年10月１日

伐採期間の30～90日前になっていますか？

　　　○○市長　殿

住　所　　　　○○市△△町字□□１２３

届出人　氏　名　○○林業

伐採する者と伐採後の造林をする者が連名で記載されていますか？

伐採する者（立木を買い受けて伐採する者等）

代表取締役　林野次郎　印

住　所　　　　○○市○○町１－２－３

届出人　氏　名　森林　太郎　　　　　　印

伐採後の造林をする者（森林所有者）

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ます。

伐採箇所の地番が全て記載されていますか？

複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| ○○市 △△町 大字○○ 字△△　地番1234-1番地，1234-2番地 |

伐採の期間が1年を超える場合は、年度別に記載してください。

全ての地番の合計面積を記載する。

２　伐採の計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 2.00ha | | |
| 伐採方法 | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | スギ | | |
| 伐採齢 | 50 | | |
| 伐採の期間 | 平成24年11月15日～平成25年３月15日 | | |

伐採面積と一致していますか？

３　伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | | | | 2.00ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | | | 2.00ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | | 2.00ha |
| 人工播種による面積（Ｂ） | | － ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | | | － ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　）・なし |

(2) 造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して２年以内となっていますか？ | | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  植栽本数 |
| 人工造林  （植栽・人工播種） | | 平成25年4月1日～  平成25年5月31日 | カラマツ | 1.00ha | 2,000本 |
| スギ | 1.00ha | 2,000本 |
| 天然更新  （ぼう芽更新・天然下種更新） | | － |  |  |  |
|  | ５年後において適確な更新がなされない場合 | － | － | － | － |

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
| --- |
| － |

適合通知書が必要な場合は記載してください。

４　備考

|  |
| --- |
| 適合通知書等の希望の有無（ 有・無 ） |

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採をする者と伐採後の造林をする者とが異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採をする者と当該伐採後の造林をする者が連名で提出すること。

３　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

４　森林の所在場所ごとに記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

７　伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

８　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

９　伐採の期間が１年を超える場合においては、２の伐採の計画を年次別に記載すること。

10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

11　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

12　天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。

13　造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

14　樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

15　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。

16　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

（記載例６）　伐採方法が皆伐であって、伐採後の造林の計画が天然更新の場合

伐採及び伐採後の造林の届出書

伐採期間の30～90日前になっていますか？

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 平成24年９月15日

　　　○○市長　殿

住　所　　　　○○市△△町字□□１２３

届出人　氏　名　○○林業

伐採する者と伐採後の造林をする者が連名で記載されていますか？

伐採する者（立木を買い受けて伐採する者等）

代表取締役　林野次郎　印

住　所　　　　○○市○○町１－２－３

届出人　氏　名　森林　太郎　　　　　　印

伐採後の造林をする者（森林所有者）

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ます。

伐採箇所の地番が全て記載されていますか？

複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| ○○市 △△町 大字○○ 字△△　地番1234-1番地，1234-2番地 |

全ての地番の合計面積を記載してください

伐採の期間が1年を超える場合は、年度別に記載してください。

２　伐採の計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 3.30ha（うち平成24年度2.20ha，平成25年度1.10ha） | | |
| 伐採方法 | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | クヌギ、その他広葉樹 | | |
| 伐採齢 | 45（35～50） | | |
| 伐採の期間 | 平成24年11月1日～平成25年12月31日 | | |

伐採面積と一致していますか？

３　伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | | | | 3.30ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | | | － ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | | － ha |
| 人工播種による面積（Ｂ） | | － ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | | | 3.30ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | | 2.20ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　芽かき　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） | | 1.10ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　）・なし |

天然更新すべき立木の本数に面積を乗じて得た本数を記載してください。

（例）3,000本/ha×3.30ha = 9,900本

５年後において適確な更新が完了していない場合は、当該本数に足らない本数を植栽することとなります。

(2) 造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  植栽本数 |
| 人工造林  （植栽・人工播種） | | － | － | －　ha | －　本 |
| 天然更新  （ぼう芽更新・天然下種更新） | | 平成26年4月1日～  平成31年3月31日 | クヌギ | 2.20ha |  |
| その他広葉樹 | 1.10ha |
|  | ５年後において適確な更新がなされない場合 | 平成31年4月1日～  平成32年3月31日 | その他広葉樹  ５年後の天然更新の完了の見込みに関係なく天然更新を計画する全面積を記載してください。 | 3.30ha | 9,900本 |

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して５年を超えない期間となっていますか？

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して７年を超えない期間となっていますか？

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
| --- |
| － |

適合通知書が必要な場合は記載してください。

４　備考

|  |
| --- |
| 適合通知書等の希望の有無（ 有・無 ） |

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採をする者と伐採後の造林をする者とが異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採をする者と当該伐採後の造林をする者が連名で提出すること。

３　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

４　森林の所在場所ごとに記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

７　伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

８　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

９　伐採の期間が１年を超える場合においては、２の伐採の計画を年次別に記載すること。

10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

11　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

12　天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。

13　造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

14　樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

15　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。

16　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

伐採及び伐採後の造林の届出書

（記載例７）　　　　 伐採方法が択伐の場合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 平成24年10月１日

　　　○○市長　殿

伐採期間の30～90日前になっていますか？

住　所　　　　○○市△△町字□□１２３

届出人　氏　名　○○林業

伐採する者と伐採後の造林をする者が連名で記載されていますか？

伐採する者（立木を買い受けて伐採する者等）

代表取締役　林野次郎　印

住　所　　　　○○市○○町１－２－３

届出人　氏　名　森林　太郎　　　　　　印

伐採後の造林をする者（森林所有者）

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ます。

伐採箇所の地番が全て記載されていますか？

複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| ○○市 △△町 大字○○ 字△△　地番1234-1番地，1234-2番地 |

市町村森林整備計画に定める立木の伐採（主伐（択伐））の標準的な方法、伐採率になっていますか？

全ての地番の合計面積を記載する。

２　伐採の計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 2.00ha | | |
| 伐採方法 | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 | 伐採率 | 40％ |
| 伐採樹種 | スギ | | |
| 伐採齢 | 60 | | |
| 伐採の期間 | 平成24年11月1日～平成25年3月15日 | | |

主伐に係る伐採面積と一致していますか？

３　伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | | | | 2.00ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | | | 2.00ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | | 2.00ha |
| 人工播種による面積（Ｂ） | | － ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | | | － ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　芽かき　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　）・なし |

(2) 造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  植栽本数 |
| 人工造林  （植栽・人工播種） | | 平成25年4月1日～  平成25年5月31日 | スギ | 2.00ha | 4,000本 |
| 天然更新  （ぼう芽更新・天然下種更新） | | － | －  伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して５年以内となっていますか？ | －　ha |  |
|  | ５年後において適確な更新がなされない場合 | － | － | －　ha | －　本 |

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
| --- |
| － |

４　備考

|  |
| --- |
| 適合通知書等の希望の有無（ 有・無 ） |

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採をする者と伐採後の造林をする者とが異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採をする者と当該伐採後の造林をする者が連名で提出すること。

３　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

４　森林の所在場所ごとに記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

７　伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

８　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

９　伐採の期間が１年を超える場合においては、２の伐採の計画を年次別に記載すること。

10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

11　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

12　天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。

13　造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

14　樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

15　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。

16　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

（記載例８）　伐採後に森林以外の用途に供されることとなる場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

平成30年４月20日

伐採の期間の末日から30日以内になっていますか？。

　　　○○市長　殿

住　所　　○○市○○町１－２－３

伐採及び伐採後の造林の届出人と同じ人が報告者となっていますか？

報告者 氏名　森林　次郎　　印

平成30年２月１日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の８第２項の規定により報告します。

造林箇所の地番が全て記載されていますか？

複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| ○○市　△△町　大字○○　字△△　地番1234-1番地 |

伐採及び伐採後の造林の届出書の「伐採計画」と一緒になっていますか？

２　伐採の実施状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 0.50　ha | | |
| 伐採方法 | 皆伐　・　択伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | スギ | | |
| 伐採の期間 | 平成30年３月12日～平成30年３月30日 | | |

３　伐採後の造林の実施状況

伐採後に森林以外の用途に供されることとなるため、造林の実施状況の記載は不要。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 造林の  方　法 | 造林の  期　間 | 造　林  樹　種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の造林本数 |
| 人工造林 | － | － | － | － | － |
| 天然更新 | － | － | － | － | － |

４　備考

|  |
| --- |
| 伐採後に宅地造成を予定（転用予定時期：平成30年８月） |

伐採後の用途が森林以外（転用）である場合、その用途及び時期を記載してください。

注意事項

１　報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

３　森林の所在場所ごとに記載すること。

４　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

５　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

６　伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

７　造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。

８　人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

９　天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

（記載例９）　　　造林方法が人工造林の場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

伐採及び伐採後の造林の届出人と同じ人が報告者となっていますか？

平成30年５月31日

　　　○○市長　殿

造林の期間の末日から30日以内になっていますか？

住　所　　○○市○○町１－２－４

伐採をした者と伐採後の造林をした者が異なる場合は、連名で報告します。

報告者 氏名　森林　次郎　　印

森林　花子　　印

平成29年10月１日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の８第２項の規定により報告します。

造林箇所の地番が全て記載されていますか？

複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| ○○市　△△町　大字○○　字△△　地番1234-1番地、1234-2番地 |

伐採及び伐採後の造林の届出書の「伐採計画」と一緒になっていますか？

２　伐採の実施状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 2.00　ha | | |
| 伐採方法 | 皆伐　・　択伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | スギ | | |
| 伐採の期間 | 平成29年12月15日～平成30年２月15日 | | |

３　伐採後の造林の実施状況

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 造林の  方　法 | 造林の  期　間 | 造　林  樹　種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の造林本数  複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載されていますか？ |
| 人工造林 | 植栽 | 平成30年３月1日～平成30年５月18日 | スギ | 1.00ha | 2,000本 |
| カラマツ | 1.00ha | 2,000本 |
| 天然更新 | － | － | － | － | － |

伐採及び伐採後の造林の届出書の「造林計画」と一緒になっていますか？

４　備考

|  |
| --- |
| 平成30年3月1日に森林太郎から相続（共有者：森林次郎ほか１名） |

相続等により届出書とは異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報を記載してください。

注意事項

１　報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

３　森林の所在場所ごとに記載すること。

４　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

５　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

６　伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

７　造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。

８　人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

９　天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

（記載例10）　　　　　造林方法が天然更新の場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

平成34年６月31日

　　　○○市長　殿

造林の期間の末日から30日以内になっていますか？

住　所　　　　○○市△△町字□□１２３

届出人　氏名　○○林業

伐採をした者（立木を買い受けて伐採した者等）

代表取締役　林野　次郎　　印

伐採をした者と伐採後の造林をした者が異なる場合は、連名で報告します。

住　所　　　　○○市○○町１－２－３

伐採後の造林をした者（森林所有者）

届出人　氏名　森林　次郎　　　　　　印

　　　　　　　森林　花子　　　　　　印

平成29年10月１日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の８第２項の規定により報告します。

造林箇所の地番が全て記載されていますか？

複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| ○○市　△△町　大字○○　字△△　地番1234-1番地、1234-2番地 |

伐採及び伐採後の造林の届出書の「伐採計画」と一緒になっていますか？

２　伐採の実施状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 3.30　ha | | |
| 伐採方法 | 皆伐　・　択伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | クヌギ、その他広葉樹 | | |
| 伐採の期間 | 平成29年11月10日～平成29年12月20日 | | |

伐採及び伐採後の造林の届出書の「造林計画」と一緒になっていますか？

３　伐採後の造林の実施状況

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 造林の  方　法 | 造林の  期　間 | 造　林  樹　種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の造林本数 |
| 人工造林 | － | － | － | － | －  複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載されていますか？ |
| 天然更新 | ぼう芽更新、天然下種更新 | 平成29年12月21日～平成34年6月18日 | クヌギ | 2.20ha | 7,000本 |
| その他広葉樹 | 1.10ha | 別添の  とおり |

４　備考

|  |
| --- |
| 平成30年3月1日に森林太郎から相続（共有者：森林次郎ほか１名） |

注意事項

相続等により届出書とは異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報を記載してください。

１　報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

３　森林の所在場所ごとに記載すること。

４　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

５　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

６　伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

７　造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。

８　人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

９　天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

（別添の例２）

更新状況チェックリスト

（確認日：平成○年○月○日）

☑　更新樹種の稚樹の樹高が周囲の競合植物の草丈を十分上回っている。

☑　更新樹種の稚樹の本数が半径○ｍの円内に○本以上生育している。

☑　伐採跡地が全体的に更新されている。

☑

☑

（別添の例１）

造林地の写真

（撮影日：平成○年○月○日）

造林地全体の遠景

（数枚）

更新樹種の生育状況（高さや成立本数）がわかる近景（代表的な更新樹種がわかる近接写真を含む）

（数枚）